

平成30年7月豪雨災害対応状況

東広島地区民有林直轄治山事業 (近畿中国森林管理局 広島森林管理署 山地災害復旧対策室)

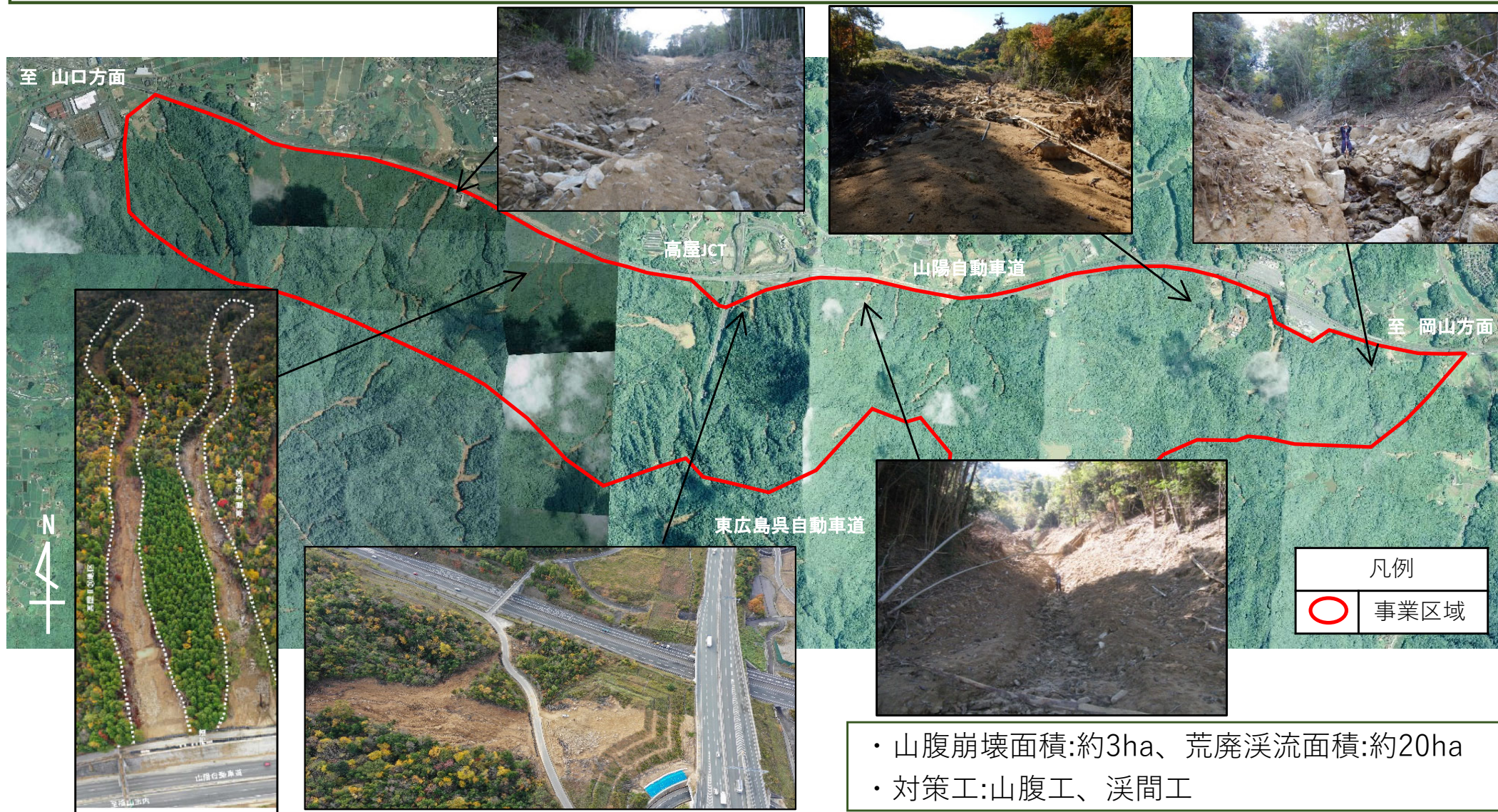
平成30年7月豪雨により、多数の山腹崩壊等が発生し、広島県東広島市などで甚大な被害が生じたことから、林野庁では、東広島市内の高屋・八本松・黒瀬の3区域において、令和元年度から国による民有林直轄治山事業を実施しています。



①高屋区域

災害発生時荒廃状況

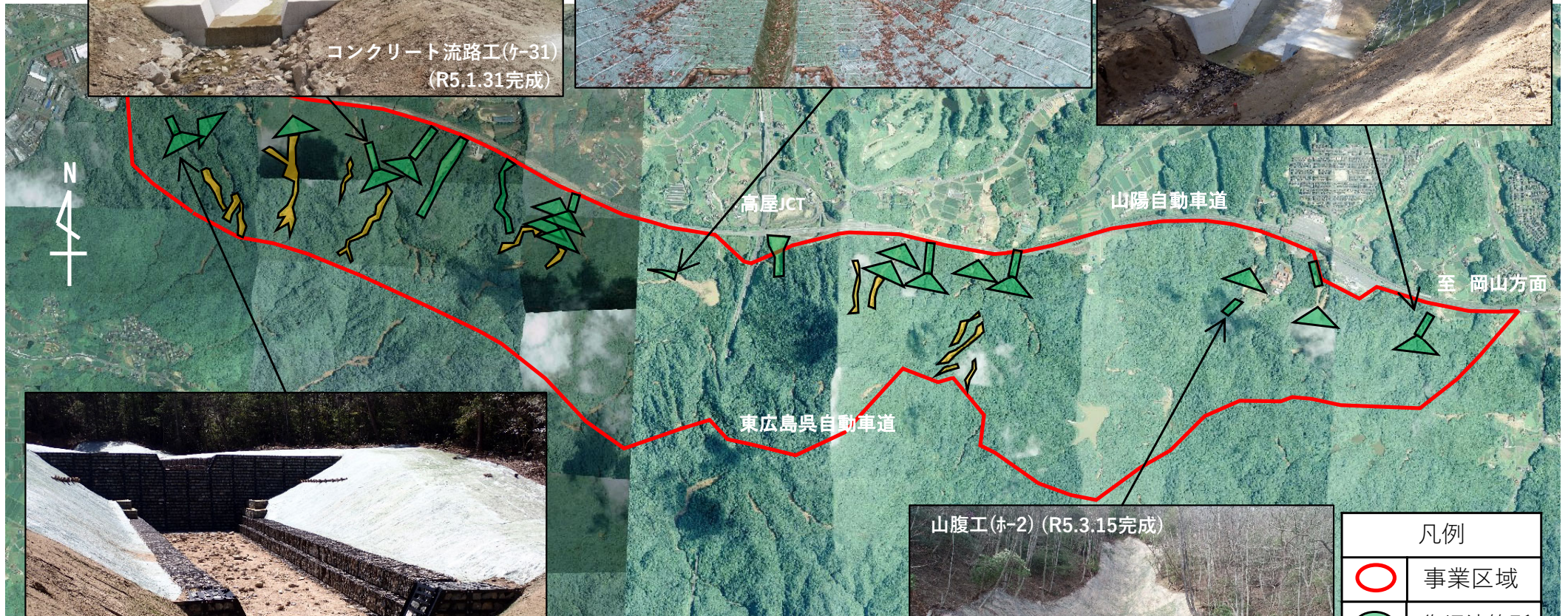
山陽自動車道の南側に位置する山腹斜面で高屋JCTの東側と西側に位置しています。
 荒廃地面積は約23haで、一部の荒廃地からの土砂が山陽自動車道に直接的な被害を及ぼし、一時通行止めの影響を与えました。
 荒廃の進行・拡大が顕著な溪流を優先して、治山ダム(溪間工)及び土留工(山腹工)により復旧を図ります。



①高屋区域

復旧状況

【令和5年3月末現在】



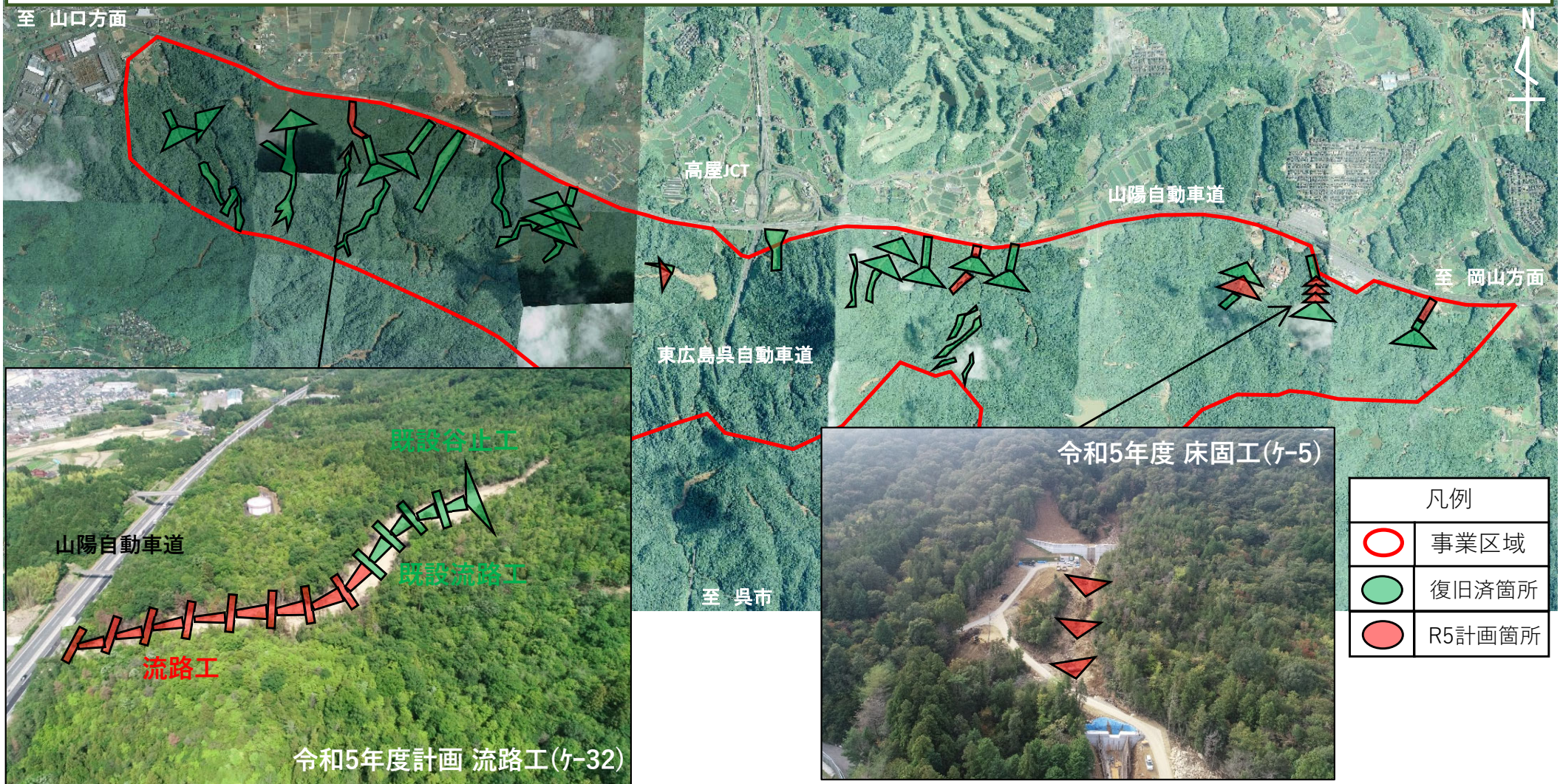
凡例	
	事業区域
	復旧済箇所
	航空緑化工 復旧済箇所

①高屋区域

令和5年度計画

令和5年度は、山脚の固定及び土砂流出の抑止・調整を図るために谷止工及び床固工(治山ダム工)5基と、水の通り道を固定して乱流を防止するとともに、縦断勾配を規制して縦横侵食を防止するための流路工3箇所を計画しています。

また、山腹斜面の安定を図るための土留工等の山腹基礎工1箇所と、植生を早期に回復させ、樹木等の育成に伴う被覆効果及び根系の緊縛効果により斜面の安定を図るための緑化工を、1箇所の崩壊地において計画しています。



凡例	
○	事業区域
▶	復旧済箇所
▶	R5計画箇所

令和5年度計画 流路工(ヶ-32)

令和5年度 床固工(ヶ-5)

②八本松区域

災害発生時荒廃状況

国道2号線バイパスの南側に位置し、下流には国道2号線が位置しています。
荒廃地面積は約10haで、一部の荒廃地からの土砂が国道及び市街地まで流出しました。
荒廃の進行・拡大が顕著な溪流を優先して、治山ダム(溪間工)及び土留工(山腹工)により復旧を図ります。



- 山腹崩壊面積:約1.5ha、荒廃溪流面積:約8.5ha
- 対策工:山腹工、溪間工

②八本松区域

復旧状況

【令和5年3月末現在】



凡例	
	事業区域
	復旧済箇所



②八本松区域

令和5年度計画

令和5年度は、山脚の固定及び土砂流出の抑止・調整を図るために谷止工及び床固工(治山ダム工)4基と、水の通り道を固定して乱流を防止するとともに、縦断勾配を規制して縦横侵食を防止するための流路工1箇所を計画しています。

また、山腹斜面の安定を図るための土留工等の山腹基礎工1箇所と、植生を早期に回復させ、樹木等の育成に伴う被覆効果及び根系の緊縛効果により斜面の安定を図るための緑化工を、2箇所の崩壊地において計画しています。



令和5年度計画 谷止工、流路工及び山腹工



凡例	
	事業区域
	復旧済箇所
	R5計画箇所

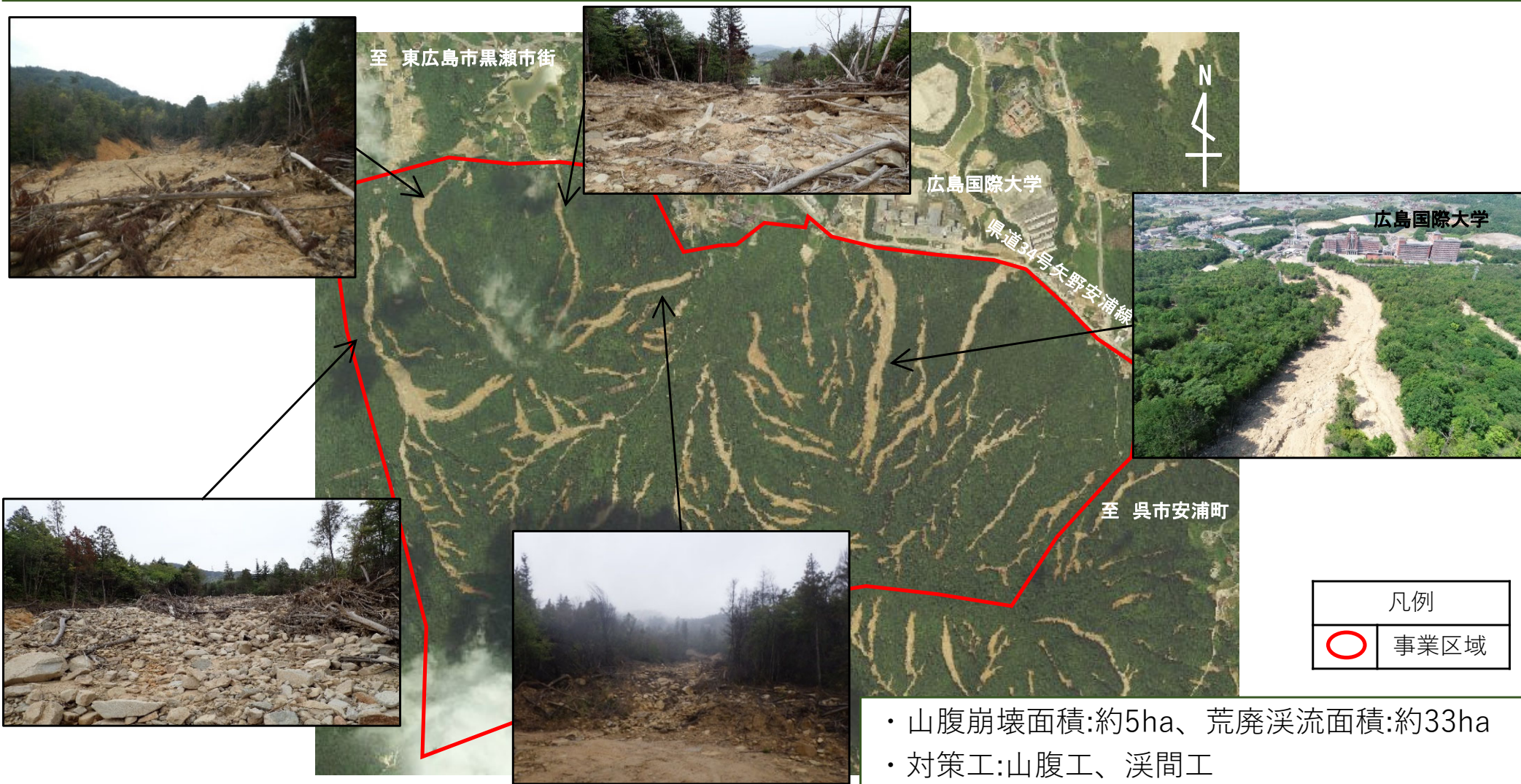
③黒瀬区域

災害発生時荒廃状況

東広島市・呉市境にある前平山・本岳の南側斜面に位置し、保全対象として県道34号線、広島国際大学及び住宅地があります。

荒廃地面積は約38haで、土石流により既設の治山施設が破壊され、県道へ土砂が流出して通行止めになったほか、広島国際大学構内へ土砂が流入しました。

荒廃の進行・拡大が顕著な溪流を優先して、治山ダム(溪間工)及び土留工(山腹工)により復旧を図ります。

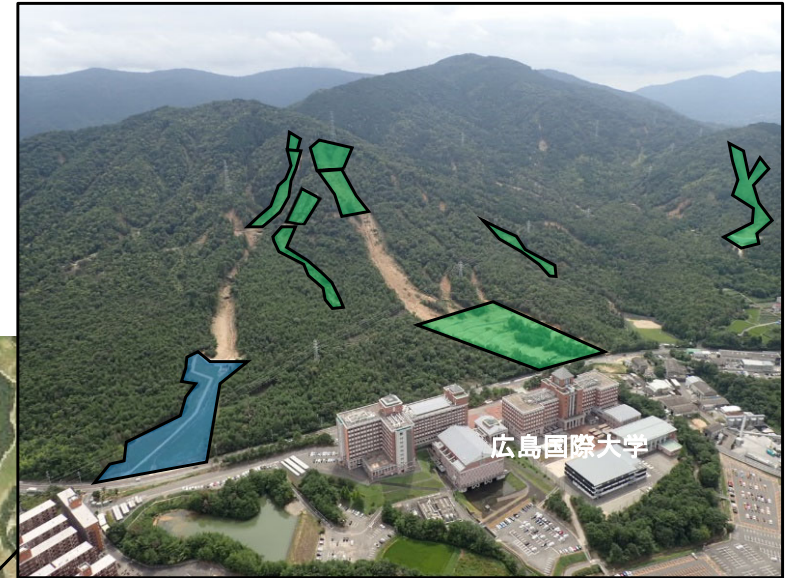


- ・山腹崩壊面積:約5ha、荒廃溪流面積:約33ha
- ・対策工:山腹工、溪間工

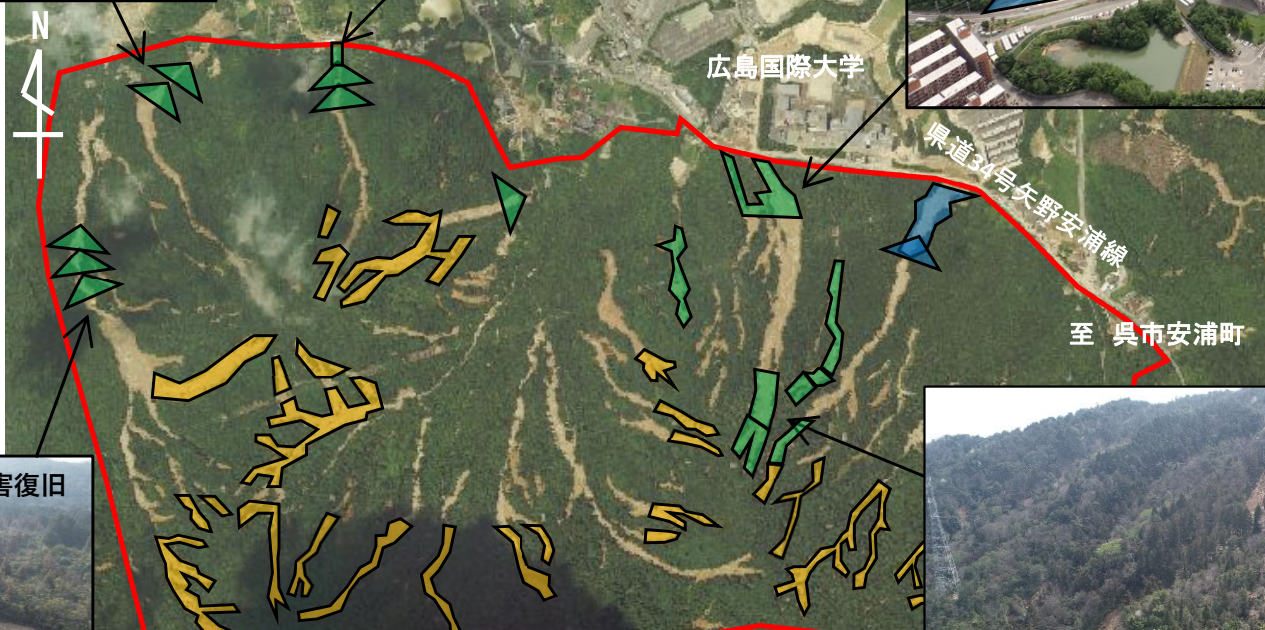
③黒瀬区域

復旧状況

【令和5年3月末現在】



凡例	
	事業区域
	復旧済箇所
	航空緑化工 復旧済箇所
	他官庁施工

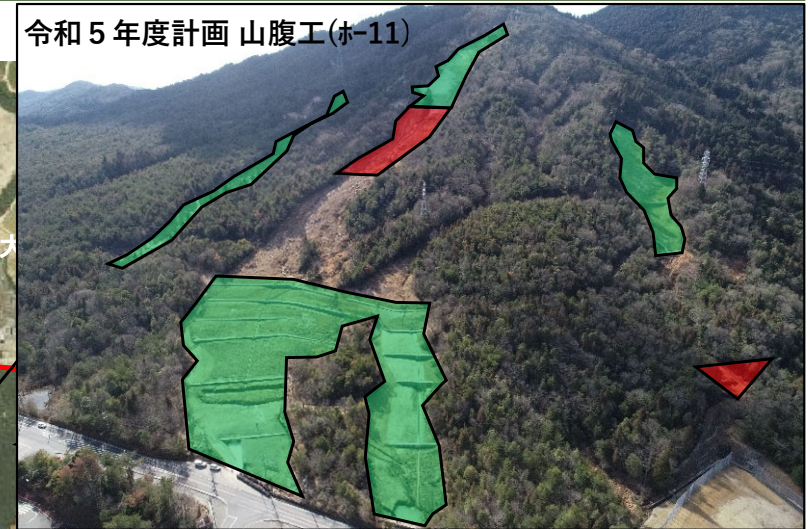


③黒瀬区域

令和5年度計画

令和5年度は、山脚の固定及び土砂流出の抑止・調整を図るために谷止工及び床固工(治山ダム工)2基を計画しています。

また、山腹斜面の安定を図るための土留工等の山腹基礎工2箇所と、植生を早期に回復させ、樹木等の育成に伴う被覆効果及び根系の緊縛効果により斜面の安定を図るための緑化工を、4箇所の崩壊地において計画しています。



凡例	
	事業区域
	復旧済箇所
	R5計画箇所
	他官庁施工